

ポルトガル月報

2024年12月

(本月報は月末現在の報道などの公開情報を大使館で取りまとめたものです)

在ポルトガル日本国大使館

【主要ニュース】

【内政】★ルイス・モンテネグロ首相によるクリスマス及び年末のメッセージの発出

【外交】★在ウクライナポルトガル大使館に関する葡政府の声明

【経済】★メーカー別別電気自動車（EV）年間販売台数の統計の発表

(上記主要ニュースには以下本文にて★が付されている)

内政

●世論調査の発表

12月3日、Intercampus社は政党支持に対する世論調査結果を発表した。世論調査の結果、野党の社会党（PS）が支持率27.1%で首位となり、与党の民主同盟（AD）は26.0%で2番手となった。野党第2党のシェーガ党（CH）は14.6%となった。議会の傾向としては、前回同様、右派政党の支持率が左派政党を上回る。最新の世論調査の結果は以下のとおり。

政党名	支持率
民主同盟（AD）*	26.0%
社会党（PS）	27.1%
シェーガ党（CH）	14.6%
リベラル主導党（IL）	7.5%
左翼連合（BE）	5.2%
自由党（L）	3.0%
統一民主同盟（CDU）**	3.0%
人と自然と動物の党（PAN）	2.9%

*社会民主党（PSD）と民衆党（CDS-PP）の連合

**ポルトガル共産党（PCP）・緑の党（PEV）の連合

●マデイラ自治州2025年度州予算案の否決

12月9日、2025年度マデイラ自治州予算が否決された。賛成票を投じたのは、少数与党の社会民主党（PSD）及び民衆党（CDS）のみで、その他野党（人民共同党（JPP）、シェーガ党（CH）、統一民主連合（CDU）、リベラル主導党（IL）、人と動物と自然の党（PAN）左翼連合（BE））は全て反対票を投じた。自治州予算が否決されたのは、同議会の約50年の歴史の中で初めてである。

●マデイラ自治州議会での問責決議案の可決

12月17日、マデイラ自治州議会において、シェーガ党（CH）が提出した自治州政府に対する問責決議案が可決された。同問責決議案には、少数与党の社会民主党（PSD）及び民衆党（CDS）のみが反対票を投じ、その他野党（人民共同党（JPP）、シェーガ党（CH）、統一民主連合（CDU）、リベラル主導党（IL）、人と動物と自然の党（PAN）及び左翼連合（BE））は全て賛成票を投じた。同月19日、イレネウ・バヘート/マデイラ自治州共和国代表は17日の自治州議会における問責決議の可決を受け、自治州議会にて議席を擁する全ての政党の党首より意見聴取を行った。12月23日、「バ」代表はレベロ・デ・ソウザ共和国大統領とベレンにて会談し、解散選挙の可能性に関して意見交換がなされた。

★ルイス・モンテネグロ首相によるクリスマス及び年末のメッセージの発出

12月25日、ルイス・モンテネグロ首相は、クリスマス及び年末のメッセージを発出した。同首相は「今まさに終わりを迎えようとしているこの1年は、転換と変化の年であった。新政権は新たな優先事項と選択肢をもたらした。(中略) 私たちは現在を大切に、未来を築くために取り組んできた。」と述べた。モンテネグロ首相は、最も差し迫った問題の解決に取り組むと述べるとともに、年金増額、若者向け所得税の減税、最低賃金および公務員給与の引き上げ等について言及し、「政府は戦略的かつ構造的な変革を実施している」と述べた。そして、「政府は、連帯と寛容の精神をもって、国民が困難を乗り越えることができると信じている。我々は、誰一人取り残されることなく、共に歩んでいく」と締めくくった。

外交

●ミランダ・サルメント財務大臣のブリュッセル訪問

12月10日、ミランダ・サルメント財務大臣は、レイス・ドゥアルテ財務担当副大臣とともに、ユーロを法定通貨とするEU加盟国の財務大臣の会合であるユーログループ会合及びEU経済財務相理事会に出席するためブリュッセルを訪問した。訪問中、サルメント財務大臣は、ブルームバーグ社のインタビューに応じ、欧州と世界の現在の経済見通しを分析した。その中で同大臣は、EU域内経済が直面している課題と、金融の安定を強化し持続可能な成長を促進するための政策協調の重要性を強調した。

●ヌーノ・サンパイオ外務・協力担当副大臣のカーボ・ヴェルデ訪問

12月12日、13日にかけて、ヌーノ・サンパイオ外務・協力担当副大臣はカーボ・ヴェルデを公式訪問し、ミリアン・ヴィレイラ/カーボ・ヴェルデ外務副大臣と会談した。また、カーボ・ヴェルデ国立出版社(INCV)の新施設の開所式にも参加した。同施設は、EUとポルトガルの共同出資によるもので、これによりカーボ・ヴェルデは、自国内の身分証明書、渡航・滞在文書(国民身分証明書、電子パスポート、外国人滞在許可証)の効率化を図ることができる。

●ポルトガル政府の伯製軽攻撃機購入の閣議決定

12月12日、ポルトガル政府は、伯エンブラエル社製A29N軽攻撃機(通称:スーペルトゥカーノ)12機、フライトシュミレーター、ロジスティクス支援・サービスの購入に2億ユーロを投じる閣議決定をした。同決定は、本年7月にポルトガル政府が閣議決定した「技術的・交渉的協議」に続くものであり、高度技術分野においてポルトガルの産業が強力に参画し、同国軍の航空機をNATOの基準・仕様に合わせて再構成することを目指している。

●スイス大統領のポルトガル訪問

12月16日、ヴィオラ・アムヘルトスイス連邦大統領兼国防・市民防衛・スポーツ大臣がポルトガルを訪問し、ルイス・モンテネグロ首相と会談した。同首相は、会談後の共同記者会見にて「スイスのポルトガル人コミュニティの重要性」を強調し、「スイス当局が、スイスに住む約26万人のポルトガル人、及び5万人以上のポルトガル人の子孫の受け入れに非の打ちどころのない断固とした態度をとっていることも認識している」と述べた。

★在ウクライナ葡大使館に関するポルトガル政府の声明

12月20日、ポルトガル外務省は、ロシアによるキーウへの攻撃により、在ウクライナポルトガル大使館が物的被害を受けた件に関し、声明を発表した。同声明では、「ポルトガル政府は、今朝キーウで発生したロシアによる攻撃を強く非難する。この攻撃により、ポルトガル大使館の応接室を含む複数の在外公館が物的損害を受けた。いかなる攻撃も、外交施設を標的とし、危害を加えることは絶対に容認できない。ロシアに正式に抗議するため、駐ポルトガルロシア臨時代理大使を外務省に呼び出した。」と述べられている。

●共和国大統領、モザンビークの選挙結果に関するメッセージを発出

12月23日、レベロ・デ・ソウザ大統領は、10月に行われたモザンビークでの大統領選挙に関する、モザンビーク憲法評議会による最終結果布告について、メッセージ

を發出した。レベロ・デ・ソウザ大統領の發言として、
「モザンビーク憲法評議会による選挙の公式結果が發表されたばかりであるが、共和国大統領は、同評議会により正式に當選が宣言された候補者および政治勢力に留意し、すでに表明された国民的理解の意思を歓迎するとともに、モザンビーク社会の新たな現実と民意の尊重という枠組みの中で、紛争解決の基礎となるべきすべての政治勢力間の民主的対話の重要性を強調する。」と記されている。加えて、「平和の構築、人権の尊重、民主主義と法の支配、持続可能な開発、社会正義の実現において、ポルトガルとモザンビークの国家と国民の間の友愛の友好関係、そして、両国の兄弟のような国民に奉仕するあらゆる分野における協力とパートナーシップを再確認する。」と記載されている。

経済

★メーカー別別電気自動車（EV）年間販売台数の統計の発表

12月2日、ポルトガル車協会は、2024年のメーカー別電気自動車（EV）年間販売台数の統計を發表した。2024年の販売台数は前年と比べて増加傾向にあるが、特に、中国BYD社の増加率が顕著となっている。2023年との比較を合わせた数値は以下のとおり。（2024年は11時点の数値）

メーカー	2023	2024	増加率
米テスラ	8146	8377	2.8%
独 BMW	2966	3721	25%
瑞 Volvo	1235	2964	140%
仏 Peugeot	2289	2720	18%
独 Mercedes	2112	2532	19%
中 BYD	271	2350	767%
独 Volkswagen	2221	1523	-31%

●2024年10月の貿易取引数値の発表

12月10日、国立統計院（INE）は2024年10月の貿易取引量の変化に関する数値を發表した。10月の貿易取引量は前年と比較し、輸出が17.1%増、輸入が7.5%増となった。

●2024年11月の電源構成における再生可能エネルギーの割合発表

12月12日、ポルトガル再生可能エネルギー機関（APREN）は国内の再生可能エネルギーに関するデータを發表した。ポルトガルの2024年11月の電源構成における再生可能エネルギーの割合は76.5%となった。種別では、風力が41.3%、水力が27.7%、太陽光が7.6%、バイオマスが6.2%となった。ポルトガルの電源構成における各月再生可能エネルギーの割合は下記。

	7月	8月	9月	10月	11月
再エネ割合	77.1%	77.5%	75.3%	78.6%	76.5%

●2024年11月の消費者物価指数の発表

12月13日、国立統計院（INE）は2024年11月の消費者物価指数（CPI）を發表した。同月の消費者物価指数は2.5%となり、前月から0.2%増加した。この数値は、欧州連合統計局によって發表されたユーロ圏の同時期の数値（2.2%）をわずかに下回る。ポルトガル及びユーロ圏の過去の消費者物価指数は以下のとおり。

	6月	7月	8月	9月	10月	11月
葡	2.8%	2.5%	1.9%	2.1%	2.3%	2.5%
ユーロ圏	2.5%	2.6%	2.2%	1.7%	2.4%	2.2%

（了）